

花ノ木遺跡・中街道遺跡 発掘通信 No.4

中街道遺跡の上層調査が無事終了。現在下層調査中です。

10月末の花ノ木遺跡調査終了とほぼ同時に始まった中街道遺跡の上層調査も、11月下旬で無事終わることができました。

試掘結果から当初、上層は中世（鎌倉・室町時代）～近世（江戸時代）の遺跡であることが予想されていましたが、いざフタをあけてみるとほとんどが現代の建物や畑によって破壊・攪乱かくらんされていました。そのため、近世以前にさかのぼるような遺構は残念ながら見つかりませんでした。

しかし、より下の層には古代（奈良・平安時代）～中世の遺物が含まれており、元々下層に含まれていたと見られる遺物が、上層調査でも混入的に出土しゅつ土しました。

以上のように上層調査は期待通りの結果にはなりませんでした。試掘坑を改めて掘り返してみたところ、下層には花ノ木遺跡と同様に古代～中世の遺構・遺物が埋まっていることが確認できました。そして、11月26日から下層への掘り下げを本格的に開始し、現在東半分の調査を進めています。

中街道遺跡の下層には、一体どんな歴史的文化遺産が眠っているのでしょうか？調査の成果はこれからの発掘通信や現地説明会をご期待ください！



中街道遺跡上層の全景

（無数の穴や青黒く変色した部分はほとんどが後世の攪乱）